

くるみ乳児院だより 第22号

社会福祉法人大阪福祉事業財団 くるみ乳児院 発行責任者 小山 道彰

〒538-0054 大阪市鶴見区緑1丁目18-30 TEL:06-6180-5062



◆くるみ乳児院のめざすもの◆

“子どもの権利条約”に基づき、すべての「子どもの最善の利益」が尊重されることを基本にしています。子どもたち一人ひとりの違いを認め、子どもの気持ちに寄り添う養育を行っています。

後援会からのお願い

『2022年度会員募集』

大阪福祉事業財団後援会は、2001年12月に「人を人として大切にす本当の社会福祉の実現をめざして、結びつきと絆を大切に、輪を広げましょう」と呼びかけて結成されました。後援会では、法人各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす協力・共同の取り組みを進めています。当法人の大阪府下の多くの施設で老朽化が進み、皆様のご協力で、すでに12施設程の建て替えを、することができました。国や地方自治体は財政難を理由に、福祉・教育・医療などの予算を削減し、施設建て替え時の自己資金の割合も大きくなっています。

今後も大阪福祉事業財団は、皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。まだ入会されていない方は、ぜひ入会していただきますよう、宜しくお願いいたします。

＊個人会員 1口 3,000円 ＊団体会員 1口 10,000円

大阪福祉事業財団と社会福祉の発展に協力し、応援して下さる方は、くるみ乳児院（06-6180-5062）までご連絡ください。

くるみ乳児院では、地域のニーズを受け止めながら子育て支援を行っています。

『ショートステイ事業』

（大阪市の事業）

父母などが病気などで一時的にこどもの養育が困難になった時に宿泊をとまうかたちでお預かりしています。利用年齢は2歳未満です。新型コロナウイルスの関係でお預かりできないこともあります。詳細についてはお問い合わせください。

これからの行事予定

10月 遠足

11月 七五三

12月 クリスマス会



福祉のひろば

**あなたも福祉が好きになる！！
そんな1冊を手にとってみませんか？**



職員も福祉のひろばを使って学びを深めています。

ご寄付ありがとうございます

- ・阪急阪神百貨店労働組合様 カメラ
- ・METイノベーション国際推進機構 募金



2022年度の福祉まつりについて

テーマ『みんなで築こう！平和で安心して暮らせるまちを』
サブテーマ『守ろう暮らしと命を。つなげよう平和への思いを』
昨年度は新型コロナウイルスの影響で開催をすることができませんでした。今年度は感染状況を鑑みて、コロナ禍でも地域の皆様とのつながりを持てるような催しを考えています。日時や内容等は今後お知らせしていきます。参加して頂けることを楽しみにしています。

興味のある方は下記まで問い合わせください。

〒538-0054
大阪市鶴見区緑1丁目18-30
TEL:06-6180-5062
くるみ乳児院 福祉のひろば係：渡邊



川守田繭美



七夕まつり



7月にホールで七夕まつりをしました。

子どもたちと笹に短冊を飾り、おまつりを楽しみました。短冊が飾られた、大きな笹を子どもたちは何だろうとじーっと見たり、笹を触ってみたりと興味津々でした。

子どもたちは、ヨーヨーつりや輪投げ、織姫と彦星が書かれたシールはりを楽しみました。

おやつには、出店として、フランクフルトやかき氷、ベビーカステラを食べました。職員がお店屋さんになっているところに「ちょーだいね」と言いに来て、おやつをもらうととても嬉しそうでした。

はじめて、かき氷を食べる子どもたちは、冷たいのにびっくりしながらも、何度もパクパクと食べていました。それぞれがお気に入りのお面を付け、甚平を着ている姿はとても可愛らしく、お祭りの雰囲気を感じることができました。

保育士 しまのえ



大きな笹だね



ジュースください!



シールをペタッ!

盆踊り



初めてみる盆踊りでした。

町会の盆踊りへ、子どもたちと一緒に行きました。会場に近づくとなんかきこえてきて、たくさんの方が楽しそうに踊っている姿を見て興味深々^{きょうみしんしん}でした。一緒に手をつないで、楽しく踊ったりもしました。あてものでサイコロゲームをして好きな景品をえらび、とっても嬉しそうにしていました。子どもたちにとって夏の楽しい思い出になりました。

保育士 ほり



あてものゲームをしたよ



甚平を着て会場まで向かいます。



「お楽しみコンサート」に行ってきました！



クインテットという番組で活躍されていたアキラさんのコンサートの招待があり、子どもたちと観にいきました。初めて経験する大きなホールに緊張していましたが、いざ演奏が始まれば「あれなに？すごいね」と話したり指差しをしたりして楽しんでいる様子が見られました。バイオリンやチェロなど見たことのない楽器の音に驚いている姿もありましたが、演奏が終わると拍手をして最後まで観ることができました。フルオーケストラの生演奏で聴く音楽には迫力があり、子どもたちにとってとても良い刺激になりました。コロナ禍でお出掛けが難しい中、参加することができて良かったと思います。

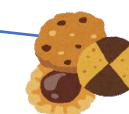
保育士 たけだ



くるみ乳児院の日常



この日のおやつはクラッカーでした。年長児の子どもたちが午前中にクラッカーの型抜きをお手伝いしてくれました。



興味のある所へ、子どもたちはよく動いています。ずりばいをして玩具を追いかけて、欲しかった玩具を手にとると、ニコッと笑顔をみせてくれます。



ベビーマッサージやふれあい遊びを通して、たくさんスキンシップをとっています。泣いている赤ちゃんも、ベビーマッサージをすると泣き止み、とても気持ちよさそうにしています。

